

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成28年 1月22日

協議会名:岩見沢市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内路線バスの見直し案の検討 ・郊外部と市街地における新たな交通網案の検討 ・公共交通の利用促進の検討 ・地域公共交通網形成計画の検討 ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの需要の見込まれる地区間、市街地の商業・医療・行政施設の連絡、将来的な道路計画などを念頭に、より効率的な運行を目指し、公共交通網の見直しを行う。 ・交通空白地域の解消に向け、市負担により乗合タクシーの実証運行を行い、需要等について把握を行った。 ・北海道大学や北海道教育大学岩見沢校などの協力を得て市街地の交流施設で実施した、コミュニティカフェ、公開講座、バスロケーションシステムの実証試験などの結果を踏まえ、利用促進について検討を進める。 ・岩見沢市の今後の公共交通のあり方を取りまとめた「岩見沢市地域公共交通網形成計画」を作成する。 	<p>A</p> <p>計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業により、「岩見沢市地域公共交通網形成計画」を作成し、次年度は、再編事業の計画策定事業を活用し、地域公共交通再編事業に基づき、路線の再編や便数などの改善を具体的に記載する「地域公共交通再編実施計画」を、交通事業者や町内会等への説明、理解を得ながら作成する。 平成29年4月の路線の再編を目指したい。

岩見沢市地域公共交通活性化協議会

平成27年1月26日設置



概要

岩見沢市は北海道の中西部に位置する、空知管内の中心都市であり、人口は84,809人(平成27年12月末現在)、総面積は481.02km²で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。市の中央を高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域であり、また札幌市と旭川市を結ぶ国道12号が市内を通っている。平成18年に、隣接する北村、栗沢町と編入合併し、農村地域を多く有することとなった。

高齢者(65歳以上)人口割合は、市全体で32.4%と高齢化が進行しており(平成27年12月末現在)、また、バス停勢力圏の人口は約50,000人と、市街地は公共交通網が形成されているものの、郊外地域においては公共交通の空白地域が存在する。また、人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などにより路線バスの利用者の減少が続いており、路線バスの維持確保のための市補助金負担も増加している。今後、さらなる高齢化の進行等により、自家用車から公共交通へ転換する高齢者の増加も見込まれ、公共交通による移動手段の確保が重要であり、今後の公共交通の基本方針として平成27年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」を定め、これを踏まえ利便性向上や、地域特性を考慮した交通手段や路線を確保するとともに、将来的に持続可能な交通体系の構築の実現に向けて、「地域公共交通網形成計画」を策定するため、本調査事業を実施するものである。

○地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(岩見沢駅、上幌向駅、幌向駅)
- ・JR室蘭本線(岩見沢駅、志文駅、栗沢駅、栗丘駅)
- ・北海道中央バス(株)(市内線10路線、郊外線9路線)
- ・(有)新篠津交通(郊外線1路線)
- ・混乗スクールバス(6路線)
- ・市営バス(2路線)

○地域公共交通の課題

- ・人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる利用者の減少
- ・郊外地域を中心とした、交通空白地域の存在
- ・高齢化のさらなる進行等による、高齢者の移動交通手段の確保

等

○調査の主な内容

- ・市内路線バスの見直し案の検討
- ・郊外部と市街地における新たな交通網案の検討
- ・公共交通の利用促進の検討
- ・地域公共交通網形成計画の検討
- ・協議会開催

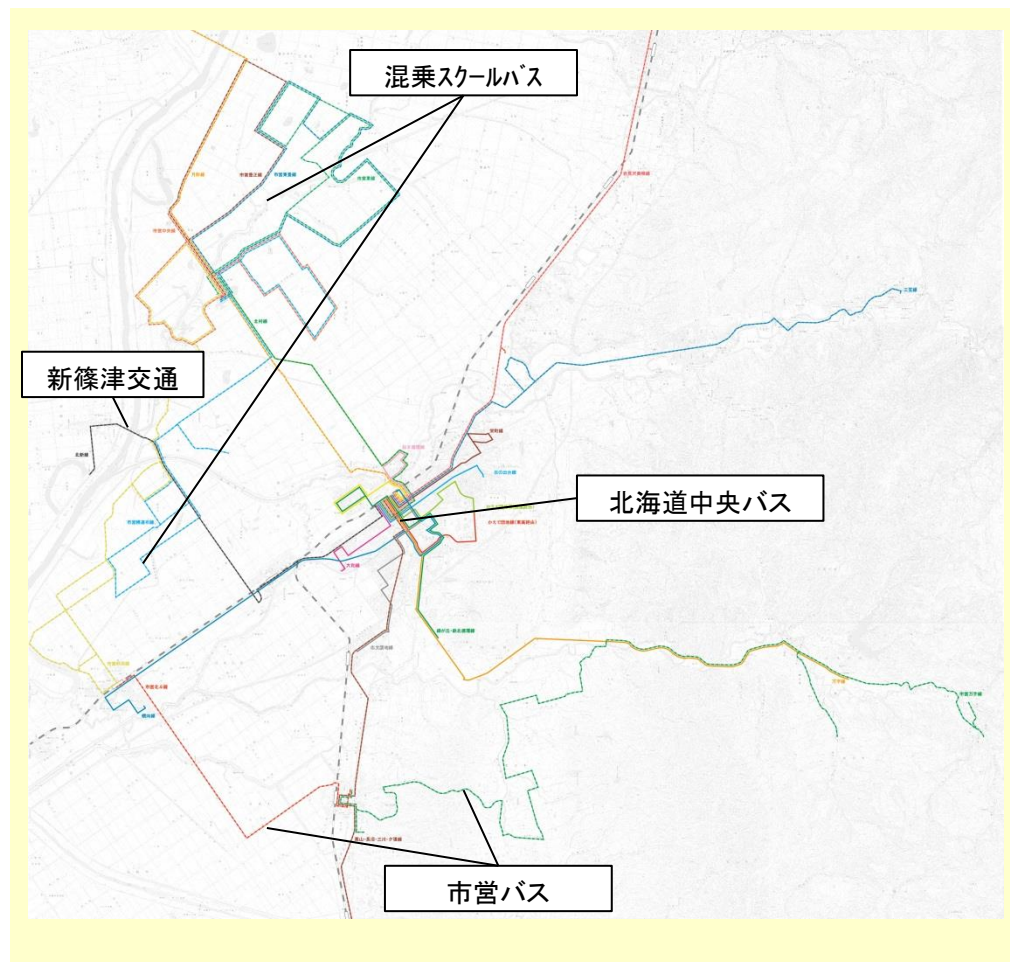
○地域公共交通活性化協議会開催状況

5月22日 第1回協議会を開催

《主な協議事項》・年間スケジュール・専門部会の設置

10月7日 第2回協議会を開催

《主な協議事項》・地域公共交通網形成計画(案)の全体像
・実証運行、実証試験の計画



岩見沢市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

- ・多くの需要の見込まれる地区間、市街地の商業・医療・行政施設の連絡、将来的な道路計画などを念頭に、より効率的な運行を目指し、公共交通網の見直しを行う。
- ・交通空白地域の解消に向け、市負担により乗合タクシーの実証運行を行い、需要等について把握を行った。
- ・北海道大学や北海道教育大学岩見沢校などの協力を得て市街地の交流施設で実施した、コミュニティカフェ、公開講座、バスロケーションシステムの実証試験などの結果を踏まえ、利用促進について検討を進める。
- ・岩見沢市の今後の公共交通のあり方を取りまとめた「岩見沢市地域公共交通網形成計画」を作成する。

●事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

- ・当事業により、「岩見沢市地域公共交通網形成計画」を作成し、次年度は、再編事業の計画策定事業を活用し、地域公共交通再編事業に基づき、路線の再編や便数などの改善を具体的に記載する「地域公共交通再編実施計画」を、交通事業者や町内会等への説明、理解を得ながら作成する。
平成29年4月の路線の再編を目指したい。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄